

愛知教育大学 学生寄宿舍(A・D棟)改修 建物概要

■ 建物概要

名 称	愛知教育大学 学生寮A棟、D棟
所 在 地	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1(愛知教育大学構内)
延 床 面 積	A棟: 727.14㎡ D棟: 727.14㎡
改修延床面積	A棟: 727.14㎡ D棟: 727.14㎡
構 造	鉄筋コンクリート造 4階建
設 計	(建築) 株式会社 唯設計 (電気・機械) 株式会社 あい設計
工 事 監 理	愛知教育大学 財務部 施設課
施 工	(建築) 大末建設株式会社 (機械) 北嶋工業株式会社 (電気) 宮田電工株式会社
工 期	平成24年10月～平成25年2月
部 屋 数	A棟 32戸(男子用) D棟 32戸(女子用)
階 高	A棟 2.7m(1～3階)、2.8m(4階) D棟 2.7m(1～3階)、2.8m(4階)
外 部 仕 上	【屋根】 塩化ビニル系シート防水(断熱工法) 【外壁】 外断熱用樹脂塗材(湿式外断熱工法) 【建具】 アルミニウム製建具 軽量鋼製建具 鋼製建具
内 部 仕 上	【床】 ビニル床シート
(寮 室)	【壁】 ビニルクロス 【天井】 ビニルクロス
電 気 設 備	電灯設備、動力設備、情報通信網設備、火災報知設備
機 械 設 備	給排水設備、空調設備、換気設備、衛生設備、ヒートポンプ式給湯器

■ 整備の目的

本学の学生寮は刈谷市井ヶ谷団地内に立地し、公共交通機関の交通アクセスに恵まれていないことから入寮希望者が多い。このことにより入寮には居住地が遠距離である学生を優先する等の制限を行っている状況であり、かつ留学生の増加に伴う留学生宿泊施設が不足しているために平成23年度に新たに1棟建設した。また、既存学生寮の各建物(A～E棟)は昭和44～45年に建設され、現在まで大型改修が実施されていないため経年劣化により老朽化が著しく、学生の生活環境が低下していること、また小修繕ではライフサイクルコストが高額となることから大規模な改修工事が必要となったため、プライバシーの確保及び一般学生と留学生の混住型寄宿舍とするためにも寮室にユニットバストイレを設け個室化(ワンルームマンション形)として、良好な住環境のもと勉学に勤しむ環境を整備することを目的として今回A棟及びD棟について整備した。他3棟については年次計画を元に今後改修する予定となっている。

■ 設計の趣旨

・改修方針

前年度新築したF棟と同等仕様になるように、南側にバルコニーを設け、出入りが容易に出来るように掃き出し窓とし、室内にはユニットバス・トイレを設けることとした。外装もF棟と遜色ないよう色彩など決定し、全ての棟の改修が完了した後、全体的な統一感が出るように計画している。

・環境配慮

ライフサイクルコストの低減を課題とし、二酸化炭素排出量削減及び環境負荷低減を実現するため、外断熱、屋上外断熱、複層ガラスを採用している。設備面ではLED照明やヒートポンプ式給湯器の採用により省エネを意識したものとなっている。

・色彩計画

内装、外装共に白を基調とし、周辺環境との調和を図るとともに、清潔感や、さわやかさを強調した。

・平面計画

各寮室にユニットバストイレを設け寮生の生活の利便性を確保した。階段室に隣接してホール(コミュニティスペース)を設け、寮生のコミュニティ促進を図った。北側バルコニーには避難はしごを設け、各室からの2方向避難を確保した。寮室南側にはバルコニーを新設し物干しスペースの確保とともに設備スペースとして使用できるものとした。

建物外観(改修前後)



改修後



愛知教育大学 学生寄宿舍(A・D棟)改修 配置図・キープラン

【寮室】

改修前



改修後



ユニットバス・トイレ

改修前



便所・洗濯場・洗面所



【多目的コーナー】



リビングルーム



【ホール】

